

▲諺語辭典成る

よりに世界に誇るの實を得たり。若し師の努力と眞摯は、近代俗慾の書を加之して金儲けに關心する所謂ブツタメーカリーなるものを輕視せしむるかと思へば更に師の此の書の偉大なる効果を納むべきを喜ぶ。

●●●●●

樂 聖

韓國牛の前途

(一)

△韓牛の聲價　本國にては近來韓牛の聲價漸く高く耕用食用を通じ大に歡迎さるに至れり是全く上叙の特殊なる長

耕牛の聲價 本國にては近來頗る漸く高く耕用食用を通じ大に

るに至れり是全く上叙の特殊な

還者 九車館去

何首にて、隨意用紙、用箋類も隨意の事、締切期限十二月二十發表は四十三年一月元旦の本紙にてす、同好の士奮て投詠せら

決議を經たり故に韓國政府が右

て毫も假裝の點なし從て決議は
非ず尙本論旨は控訴人が第一番
したる準備書面中に掲載せず又
辨論の際にも曾て申述したるこ

より京畿新報のね需めに應

刀傳五郎正宗の傳記より申
昔は武士のことを弓取と申



技術
京 城 旭 町 一 丁 目
金 川 靴 店

れ 試 し あ れ 一 割 引

石川高等法院判事閣下校閱
今村内部警務局警視閣下校閱
日韓印刷株式會社編輯部編纂

◎印刷鮮明 ◎類集整飭
◎校正嚴密 ◎攜帶便利

充實府監獄署警察署 裁判所 監獄署 警察署 法規提要

●全一冊●紙數凡六百頁●菊判半張形●定價金六十錢

右發賣價格以來未だ旬日に滿たざるも、意中の好評を博し、日々數百部の御注文に接し、後給の至りに候ては猶一層急ぎ致し大目を協約官廳、官規、官等、等に委託給其他諸給與任用裁判所、監獄署、警察署の八項に増加し、餘白日を現行法規その他些の遺漏なきの便を謀りたる等、此等の完全を期し、配本に着手可致候間、此期間に於て御購入の御方に限り、前回發賣の順序に特別減價を以て御高需に應じ可申此際續々御用仰せ付られ度奉願上候敬具

京 城

子の中を見渡した所が、今の處では是れと云ふ弟子もない、わア情けない事だ。行光の心配は此節では是ればかりでございます、所が毎日仕事をして居る仕事場の入口へ、大勢の弟子が刀を懸へて居るのを、餘念もなく立つて見て居る小僧がある。

廣 告

改修落成と電話開通
 久しく改修中の盛瀬ヶ落成仕候間不相變御
 最負の程願ふす
 京越町二丁目(名古屋城横へ入る)
 待 合 醉 月
 電話二六五番

論より證據 一割引

明治四十二年十一月一日

日韓印刷株式會社出版部

特約販賣

漬物 味噌 油 製造 元

京坂本町五丁目

大上商店

自製

和洋酒、國精釀、穀物麵類、銘茶、罐詰、乾物、
 食物食料、雜貨、ビール、米、糖、塩、辛、日本食鹽、
 特約販賣、尙御望に依り、商品、切手、調進仕

(電話二二五一番)

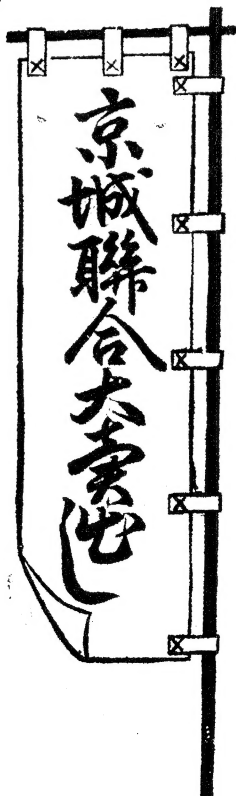
吉
本
五
日
目
三
一
審
判
斷
結
末
新
手
控
の
証
言
者
と
和
父
恐
あり△二審 陪審のなるも、裁判官が
九、阿婆必しも、猶、錢をを返せん
觀しつゝあり 十七日(吉)

[illegible]

外人鎖業税に就て
國に於ける外國人の鎖業は從來舊例
に依りて、**共進會**と**韓政府**

○柳原憲兵隊長巡視

京城聯合大賣出



品	景
壹等金參千圓	參等金五百圓
貳等金壹千圓	四等金貳百圓
債券	債券
債券	債券
債券	債券
債券	債券
債券	債券
債券	債券

(各店商品切手
千五百本)

(各店商品切手
五十本)

京城聯合敎養會

(京城日本會館會議所)

歲末ニ際シ顧客各位盛運ヲ祈リ平
素ノ眷顧ニ酬ユルト共ニ市況ノ繁
榮ヲ圖ランガ爲メ來ル拾貳月壹日
ヨリ同卅一日迄左ノ方法ニ依リ全
市聯合大賣出シヲ開催致シ候間上
記左右ノ目標ヲ掲ゲアル加入各店
ヨリ御買上ゲ被下度此段願上候
御買上金五拾錢毎ニ景品券壹葉進呈
賣出期間明治四十二年十二月一日ヨリ同卅一日迄
抽籤期日明治四十三年一月七日(京城日本會館會議所)
景品引替期間明治四十三年一月八日ヨリ同卅一日迄